

SR8000/MPP 超並列ジョブ実行サービスにおけるサービス内容の一部変更について

システム運用係

SR8000/MPP では毎月第一週の週末に 128 ノードジョブ実行サービスを行っていますが、以下にサービス内容の紹介と、一部変更についてお知らせします。

◇超並列ジョブ（128 ノード）実行サービスについて

通常運用構成における並列ジョブは最大 16 ノード（128 プロセッサ）ですが、本サービスでは 128 ノード（1024 プロセッサ）使用可能なバッチジョブ環境を提供します。超並列ジョブクラス（P128 キュー）には、以下のシステム資源を割り当てます。P128 キューの利用は、グループコース及びパーソナルコース 3 を設定している利用者が対象です。

	超並列ジョブクラス	通常のジョブクラス
バッチキュー名	P128	P001 ~ P016
ノード数（プロセッサ数）	128 (1,024)	1 ~ 16 (8 ~ 128)
理論演算性能	約 1,843 GFLOPS	約 14 ~ 230 GFLOPS
主記憶容量*	2,048 GB	16 ~ 256 GB
実行時間制限（E-TIME）	1 時間	64 ~ 4 時間
ジョブスクリプト記述例	##\$-q mpp-parallel ##\$-N 128	##\$-q mpp-parallel ##\$-N 16 (P016 の場合)

*ユーザープログラムで使用できるメモリの大きさはノード当たり 13.5GB です。

本サービスは原則として

毎月 1 回、第一週の金曜日（休日の場合は前日）17:00 ~ 月曜日（同翌日）9:00

に実施します。但し、メンテナンス作業等により日程やサービス時間が変更となる場合がありますので詳細はログインメッセージにて御確認下さい。なお、本サービス開始時と終了時には運用構成切り換えのため、mpp-bt のバッチキューを一時停止します（投入は可能です）。また、実施期間中は、一部のサービスが休止となります。

休止となるサービス … 並列ジョブクラス P002, P008, P016, debug

以上の内容は、10 月 7 日（金）17:00 ~ 11 日（火）9:00 の超並列ジョブ実行サービスより適用されます。

◇現状サービスとの変更点

- ・運用構成の切り替え前後のインタラクティブ環境（mpp-s.cc.u-tokyo.ac.jp）のサービス中断がなくなります。また、SR8000/MPP に接続のディスク（/home、/short/mpp-bt 等）は継続しての使用が可能となります。
- ・並列ジョブクラスのサービス内容が一部変更（バッチキュー P002 が使用不可）となります。なお、本サービス期間中は 2 ノードジョブは P004 にキューイングされますので御注意下さい。
- ・保守作業等のため、月末に SR8000/MPP のサービスが停止となります。

なお、サービス内容に変更がある場合にはスーパーコンピューティングニュース、show-info コマンド又は Web ページ（<http://www.cc.u-tokyo.ac.jp/>）にてお知らせします。